

## 組織と材質研究会講演会

テーマ: 木材識別の役割と木材標本を利用した研究

日時: 平成 25 年 3 月 29 日(金)、13:00～16:00

場所: 岩手大学・教育学部・E21(第2会場)

藤井智之(森林総合研究所・関西支所・支所長)

「木材識別の役割と木材標本」

Prospective Role of Wood Identification and Wood Collection

1. 木材流通における樹種識別
  - 1.1 南洋材合板の関税率と樹種識別
  - 1.2 南洋材パレット用材の樹種の多様性
2. 木の文化への貢献
  - 2.1 古代木彫像の用材樹種識別
  - 2.2 文化財木造建築物の用材識別-近世の社寺建築に見る用材識別
3. 木材標本庫と木材標本データベース
  - 3.1 木材標本庫
  - 3.2 日本産木材の標本収集
  - 3.3 木材標本データベース

安部 久(森林総合研究所・木材特性研究領域)

「森林総合研究所の木材標本庫を利用した最近の研究」

1. 木材標本庫
2. 樹種の情報を用いた研究
3. 採取地の情報を用いた研究
4. 採取年の情報を用いた研究
5. 今後利用できる可能性のある情報